

2025年度 事業報告書

(2025年4月1日～2026年3月31日)

1. 事業の目的

香川県及びイタリア間の国際交流、文化芸術、農業分野の発展に寄与し、また、国際社会に貢献できる人材の育成を通じて両国相互理解の促進に資することとする。

本目的に従い、以下の事業を実施した。

2. 事業の概要

① イタリア派遣事業

・イタリア学生派遣事業

イタリアに対する興味・関心を高めるため、来年度からイタリアへの短期留学を実施し、イタリアに関心を持つ人材の育成を行った。

② イタリアに関する情報収集事業

・イタリア現地調査

イタリアの農業や食文化、芸術等についての調査団をイタリアへ派遣し、市場調査や情報収集を行い、その結果を広報誌等で広く周知する準備を行った。

③ イタリアに関する情報提供事業

・イタリアに関するフェアの開催

イタリアの食文化や、国際交流事業についての啓発・普及活動の準備を行った。

・イタリアに関する講演会の開催

イタリアにゆかりのある著名人をお招きし、講演会を開催することで、国際交流事業についての啓発準備を行った。

3. 事業実施に関する事項

事業名	事業内容等	決算額(千円)
-----	-------	---------

イタリア派遣事業	■事業名 高校生イタリア派遣事業 ■実施期間 2025年7月24日（木）～7月31日（木）（8日間） ■実施場所 イタリア（パルマ→フィレンツェ→ミラノ） ■参加者 香川県内の高校生20名 ■選考方法 香川県内の高等学校を通じて募集を行い、面接により派遣者を決定した。 ■事業内容 派遣者は、語学学習のほか、現地住民との交流、工場見学、オペラ鑑賞等に参加し、多様な文化や価値観に触れながら国際交流を行った。 ■同行者 香川アンバサダー 山田吟子氏	18,071
イタリアに関する 情報収集事業	■実施期間 2025年5月15日（木）～2025年5月21日（水）（7日間） ■参加者 調査団5名（中山、有木、稲井、小西、大久保） ■事業内容 イタリアの情報を広く周知し、今後の国際交流事業に活用するため、調査団を派遣した。現地では、パルマハム工場、Barilla社、オペラ団体等を視察し、市場調査及び情報収集を行った。 ■事業成果 調査で得られた情報を広報活動及び国際交流事業の企画・運営に活用した。	5,006
イタリアに関する 交流促進の イベント活動	■実施期間 2025年9月27日（土） ■実施場所 高松丸亀町壱番街前ドーム広場 ■事業内容 香川日伊協会及び高松丸亀町商店街振興組合主催の「イタリアに乾杯」に参加した。イタリア派遣事業に参加した学生によるイタリアクイズ大会を実施し、来場者に対してイタリアの文化や魅力を紹介した。また、クイズ大会の景品を提供した。	99

イタリアに関する 情報提供事業	■実施期間 2025年10月2日（木）、2025年11月3日（月） ■実施場所 ホテルパールガーデンほか ■事業内容 2025年10月2日（木）、山田吟子氏出演の「Non Solo Opera」に共催事業として協力した。 また、2025年11月3日（月）、ホテルパールガーデンにおいて、ヤマザキマリ氏を講師に迎え、イタリア文化に関する講演会を開催した（先着無料、約200名参加）。 ■事業成果 県民がイタリアの文化や芸術に触れる機会を提供し、国際理解の促進及び日伊交流の推進を図った。	4,766
諸経費 (HP作成費等)	■一般財団設立費 ■公益財団変更登記 ■印鑑作成 ■財団ロゴ、名刺作成 ■切手代	1,176
合計		29,118

以上

貸借対照表

令和8年3月31日現在

公益財団法人 中山芳彦香川イタリア交流財団

(単位：円)

科 目		当年度	前年度	増減
大科目	中科目			
I 資産部				
流動資産				
	現金預金	13,379,047	0	13,379,047
	前払金	7,730	0	7,730
	流動資産合計	13,386,777	0	13,386,777
固定資産				
特定資産				
	投資有価証券	2,383,239,255	1,830,867,768	552,371,487
	現金預金	0	195,100	△ 195,100
	普通預金	4,537,683	4,871,903	△ 334,220
	特定資産合計	2,387,776,938	1,835,934,771	551,842,167
	固定資産合計	2,387,776,938	1,835,934,771	551,842,167
	資産合計	2,401,163,715	1,835,934,771	565,228,944
II 負債の部				
流動負債				
	未払金	0	526,020	△ 526,020
	未払法人税等	0	3,300	△ 3,300
	流動負債合計	0	529,320	△ 529,320
固定負債				
		0	0	0
	固定負債合計	0	0	0
	負債合計	0	529,320	△ 529,320
III 正味財産の部				
指定正味財産				
	寄附金	2,387,776,938	1,835,405,451	552,371,487
	指定正味財産合計	2,387,776,938	1,835,405,451	552,371,487
	(うち基本財産への充当額)	0	0	0
	(うち特定資産への充当額)	2,387,776,938	1,835,405,451	552,371,487
一般正味財産				
		13,386,777	0	13,386,777
	(うち基本財産への充当額)	0	0	0
	(うち特定資産への充当額)	13,386,777	0	13,386,777
	正味財産合計	2,401,163,715	1,835,405,451	565,758,264
	負債及び正味財産合計	2,401,163,715	1,835,934,771	565,228,944

	公益事業会計						法人会計	総計
	公1					合計		
	1.派遣	2.情報収集	3.イベント活動	4.情報提供	共通			
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1)経常収益								
特定資産運用益					41,329,770	41,329,770	1,488,474	42,818,244
配当金及び分配金					41,313,874	41,313,874	1,488,474	42,802,348
受取利息					15,896	15,896	0	15,896
受取寄附金					0	0	0	0
受取寄附金					0	0	0	0
寄附金振替額					0	0	0	0
雑収益					0	0	0	0
受取利息					0	0	0	0
雑収益					0	0	0	0
経常収益計					41,329,770	41,329,770	1,488,474	42,818,244
(2)経常費用								
事業費	18,071,380	5,006,480	99,080	4,766,053	0	27,942,993		27,942,993
出演報酬	0	0	0	1,222,508	0	1,222,508		1,222,508
旅費交通費	17,107,400	5,000,000	0	305,700	0	22,413,100		22,413,100
通信運搬費	7,370	0	0	9,165	0	16,535		16,535
会場費	411,730	0	0	518,760	0	930,490		930,490
消耗品費	44,000	0	0	0	0	44,000		44,000
リース料	0	0	0	115,500	0	115,500		115,500
諸謝金	0	0	0	222,000	0	222,000		222,000
支払寄附金	0	0	0	2,000,000	0	2,000,000		2,000,000
交際接待費	0	6,480	0	5,130	0	11,610		11,610
支払手数料	500,880	0	1,540	2,640	0	505,060		505,060
広告宣伝費	0	0	97,320	223,300	0	320,620		320,620
雑費	0	0	220	141,350	0	141,570		141,570
管理費							1,488,474	1,488,474
消耗品費							255,802	255,802
通信運搬費							0	0
事務委託費							264,000	264,000
賃借料							360,000	360,000
広告宣伝費							605,000	605,000
交際接待費							3,672	3,672
雑費							0	0
経常費用計	18,071,380	5,006,480	99,080	4,766,053	0	27,942,993	1,488,474	29,431,467
評価損益調整前当期増減額	△ 18,071,380	△ 5,006,480	△ 99,080	△ 4,766,053	41,329,770	13,386,777	0	13,386,777
基本財産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 18,071,380	△ 5,006,480	△ 99,080	△ 4,766,053	41,329,770	13,386,777	0	13,386,777
1. 経常外増減の部								
(1)経常外収益								
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0
(2)経常外費用								
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額						0	0	0
当期一般正味財産増減額						13,386,777	0	13,386,777
一般正味財産期首残高						0	0	0
一般正味財産期末残高						13,386,777	0	13,386,777
II 指定正味財産増減の部								
当期指定正味財産増減額(評価差額)						552,371,487	0	552,371,487
指定正味財産期首残高						1,835,405,451	0	1,835,405,451
指定正味財産期末残高						2,387,776,938	0	2,387,776,938
III 正味財産期末残高						2,401,163,715	0	2,401,163,715

	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	42,818,244	0	42,818,244
配当金及び分配金	42,802,348	0	42,802,348
受取利息	15,896	0	15,896
受取寄附金	0	1,227,596	△ 1,227,596
受取寄附金	0	0	0
寄附金振替額	0	1,227,596	△ 1,227,596
雑収益	0	0	0
受取利息	0	0	0
雑収益	0	0	0
経常収益計	42,818,244	1,227,596	41,590,648
(2) 経常費用			
事業費	27,942,993	0	27,942,993
出演報酬	1,222,508	0	1,222,508
旅費交通費	22,413,100	0	22,413,100
通信運搬費	16,535	0	16,535
会場費	930,490	0	930,490
消耗品費	44,000	0	44,000
リース料	115,500	0	115,500
諸謝金	222,000	0	222,000
支払寄附金	2,000,000	0	2,000,000
交際接待費	11,610	0	11,610
支払手数料	505,060	0	505,060
広告宣伝費	320,620	0	320,620
雑費	141,570	0	141,570
管理費	1,488,474	1,227,596	260,878
租税公課	0	3,300	△ 3,300
消耗品費	255,802	28,140	227,662
通信運搬費	0	880	△ 880
事務委託費	264,000	1,195,276	△ 931,276
賃借料	360,000	0	360,000
広告宣伝費	605,000	0	605,000
交際接待費	3,672	0	3,672
雑費	0	0	0
経常費用計	29,431,467	1,227,596	28,203,871
評価損益調整前当期増減額	13,386,777	0	13,386,777
特定資産評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	13,386,777	0	13,386,777
1. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	13,386,777	0	13,386,777
一般正味財産期首残高	0	0	0
一般正味財産期末残高	13,386,777	0	13,386,777
II 指定正味財産増減の部			
受取寄附金等	0	1,791,613,323	
特定資産運用益	0	2,765,279	
特定資産評価損益	552,371,487	42,254,445	
一般正味財産への振替額	0	1,227,596	
当期指定正味財産増減額(評価差額)	552,371,487	1,835,405,451	△ 1,283,033,964
指定正味財産期首残高	1,835,405,451	0	1,835,405,451
指定正味財産期末残高	2,387,776,938	1,835,405,451	552,371,487
III 正味財産期末残高	2,401,163,715	1,835,405,451	565,758,264

附属明細書

1 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記に記載しているため、省略。

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

時価のあるもの … 決算日の市場価格等に基づく時価法

時価のないもの … 原価法

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式により行っている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
基本財産 合計	0	0	0	0
特定資産				
投資有価証券	1,830,867,768	552,371,487	0	2,383,239,255
現金	195,100	0	195,100	0
普通預金	4,871,903	0	334,220	4,537,683
(特定預金) 小計	1,835,934,771	552,371,487	529,320	2,387,776,938
特定資産 合計	1,835,934,771	552,371,487	529,320	2,387,776,938
総合計	1,835,934,771	552,371,487	529,320	2,387,776,938

3 基本財産及び特定資産の財源の内訳

基本財産及び特定資産の財源の内訳は、次のとおりである。

科目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
小計	0	0	0	0
特定資産				
投資有価証券	2,383,239,255	2,383,239,255	0	0
普通預金	4,537,683	4,537,683	0	0
小計	2,387,776,938	2,387,776,938	0	0
合計	2,387,776,938	2,387,776,938	0	0

財産目録

令和8年3月31日現在

公益財団法人 中山芳彦香川イタリア交流財団

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的	金額
(流動資産)			
現金	手許現金	運転資金として	649,191
普通預金	香川銀行	運転資金として	12,729,856
		【現金・預金合計】	13,379,047
前払金	令和8年度事業の通信費	公益目的事業に使用	7,730
		流動資産合計	13,386,777
(固定資産)			
(特定資産)			
投資有価証券	野村日本高配当株プレミアム	寄付により受け入れた上場	1,639,119,255
	野村証券 691,319,804口	有価証券であり、元本ならび	
	カルビー(株)	に運用益とともに公益目的事業	61,540,000
	野村証券 20,000株	の財源に使用する。	
	日清食品ホールディングス(株)		9,015,000
	野村証券 3,000株		
	(株)ヤクルト本社		53,200,000
	野村証券 20,000株		
	エイチ・ツー・オー リテイリング(株)		11,925,000
	野村証券 5,000株		
	日本銀行		26,950,000
	野村証券 1,100株		
	トヨタ自動車(株)		221,340,000
	野村証券 70,000株		
	日本銀行		360,150,000
	日興証券 14,700株		
		【投資有価証券合計】	2,383,239,255
普通預金	香川銀行	公益目的事業に使用	4,537,683
		【普通預金等合計】	4,537,683
		特定資産合計	2,387,776,938
		固定資産合計	2,387,776,938
		資産合計	2,401,163,715
(流動負債)			
		流動負債合計	0
(固定負債)			
		固定負債合計	0
		負債合計	0
正味財産		正味財産合計	2,401,163,715

監査報告書

令和8年6月3日

公益財団法人 中山芳彦香川イタリア交流財団

理事長 中山 明憲 殿

監事 相谷 真司



私たち監事は、令和7年4月1日から令和8年3月31日までの令和7年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次の通り報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該会計年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類（計算書類及びその附属明細書）及び財産目録について検討しました。

2 監査の結果

（1）事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の遂行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。

（2）計算関係書類及び財産目録の監査結果

計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以 上